

群馬大学共同教育学部附属学校教諭等の研修実施要項

平成16. 4. 1 制定
改正 平成19. 4. 1 平成19.12.26
平成27. 4. 1 平成29. 4. 1
令和 2. 4. 1 令和 4. 4. 1
令和 5. 4. 1 令和 7. 4. 1

（目 的）

第1 この要項は、国立大学法人群馬大学教職員就業規則等の定めに基づき、国立大学法人群馬大学（以下「本学」という。）の共同教育学部附属幼稚園、共同教育学部附属小学校、共同教育学部附属中学校及び共同教育学部附属特別支援学校（以下「附属学校」という。）に勤務する教諭及び養護教諭（以下、「教諭等」という。）の初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修の実施に関して必要な事項を定めることを目的とする。

（研修の原則）

第2 初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修は、教諭等の経験に応じた体系的な研修とする。

（初任者研修）

第3 附属学校に新規採用した教諭等（以下「初任者」という。）に対して、教諭等の職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修（以下「初任者研修」という。）を行う（既に初任者研修を受けた者を除く。）。

2 研修の期間は、新規採用の日から1年間とする。

3 研修方法は、初任者が所属する附属学校長が研修計画書を作成して実施する。この場合において、附属学校長は、教頭及び教務主任等に研修計画書案の作成を命ずるものとする。

4 研修計画書の作成に当たっては、必要に応じて、附属学校以外の機関等が実施する研修及び講習会等を活用することができるものとする。

5 附属学校長は、初任者研修の実施に際して、教頭、教務主任及び教諭等のうちから、指導教員を命ずるものとする。

6 指導教員は、研修計画書に基づき、初任者に対して、教諭等の職務の遂行に必要な事項について指導及び助言を行うものとする。

（中堅教諭等資質向上研修）

第4 附属学校の教諭等のうち、その在職期間（他の学校の教諭等の期間（臨時的に採用された教諭等の期間を除く。）を含む。）が10年を超える者（以下「対象者」という。）に対して、個々の能力、適性等に応じて、教諭等としての資質の向上を図るた

めに必要な事項に関する研修（以下「中堅教諭等資質向上研修」という。）を行う（既に中堅教諭等資質向上研修又は10年経験者研修を受けた者を除く。）。

- 2 研修は、校外及び校内で実施するものとし、下記の日数を基準として、対象者の個々の実情に基づく必要性から研修日数を定めるものとする。
 - （1）校外における研修を長期休業期間等に、年間8日間程度（共同教育学部附属学校の養護教諭にあつては年間7日間程度。）実施するものとする。
 - （2）校内における研修を課業期間等に、年間10日間以上（共同教育学部附属幼稚園及び附属学校の養護教諭にあつては年間5日間以上。）実施するものとする。
- 3 研修方法は、対象者の所属する附属学校長がその者の能力、適性等について評価を行い、その結果に基づき、対象者ごとに中堅教諭等資質向上研修の計画書を作成するものとする。なお、この場合において、対象者に自己評価を行わせるとともに、その者の意見や希望を参考として聴取するものとする。
- 4 附属学校長は、教頭及び教務主任等に、前項の評価案及び研修計画書案の作成を命ずるものとする。
- 5 研修計画書案の作成に当たっては、対象者の専門性の向上や得意分野を伸ばすなど、教諭等のニーズに応じたものとなるよう、各々の実情に応じて、具体的な研修の内容及び方法、実施期間、場所等を決定するものとする。研修項目には、教諭にあつては学習指導、生徒指導、進路指導、学級経営等、養護教諭にあつては保健管理、保健教育等を含むものとする。
- 6 附属学校長は、附属学校内においては実施できないような専門的な内容の研修を受講させることが適正であると判断した場合には、大学又は大学院等の授業及び群馬県教育委員会等が開設する研修等を活用できるものとする。また、本学の公開講座、開放講座及び附属学校の公開研究会等の参加又は本学の大学教員による指導についても研修として位置付けることができるものとする。
- 7 附属学校長は、中堅教諭等資質向上研修が終了した場合には、当該教諭等の学習指導及び生徒指導等の状況の評価を行うものとする。
- 8 前項までの評価項目は、別紙様式3のとおりとする。

（手 続）

- 第5 附属学校長は、初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修を行うときは、共同教育学部長に研修計画書案を提出するものとする。
- 2 共同教育学部長は、この研修計画書案を学長に提出し、承認を得るものとする。

（報 告）

- 第6 附属学校長は、初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修を終了したときは、共同教育学部長にその結果を報告するものとする。
- 2 共同教育学部長は、前項の結果を学長に報告するものとする。

（研修計画書様式）

- 第7 初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修の計画書は、別紙様式1及び別紙様式2と

する。

(評価書様式)

第8 中堅教諭等資質向上研修における事前評価に関わる基礎資料及び報告書は、別紙様式3及び別紙様式4とする。

(その他)

第9 附属学校長は、初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修を実施するに当たり、授業等の校務に支障がないよう、また、研修の時間を十分にとることができるよう、学校における校務分掌等において、十分な配慮を行うものとする。

2 附属学校長は、中堅教諭等資質向上研修終了時における評価の結果を、当該教諭等に対する今後の指導や研修に活用していくとともに、必要に応じて当該教諭等に説明するものとする。なお、この評価は、上記の趣旨から行われたものであり、その評価結果が直ちに勤務評定につながるものではないことを併せて説明するものとする。

3 初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修にかかる費用は本学が負担するものとする。

4 初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修の実施に関して、この要項によりがたいときは、群馬県の定めに準じて実施するものとする。

附 則

この要項は、平成19年12月26日から施行する。

附 則

この要項は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、令和7年4月1日から施行する。

別紙

付 帯 事 項

初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修の実施に際し、研修対象者及び指導教員に対する職務への加重を考慮して、教員（非常勤講師）の増員等の手当が必要である。

また、これからの学校教育においては、様々な得意分野や専門分野を持った教職員が連携協力して教育効果等を高めることが必要とされていることから、養護教諭，学校事務職員，学校栄養職員等についても、これらの専門性を高め、学校運営への積極的な参加を促す観点から、研修内容の見直しや充実に努めることを付帯する。

別紙様式 1

(元号) 年度初任者研修計画署

[研修教員]

所属	群馬大学 共同教育学部附属	職名		氏 名		性別	
				生年月日	年 月 日生		

月	時 期	研 修 内 容	研 修 場 所	指 導 教 員
4 月	第 1 週 目			
	第 2 週 目			
	第 3 週 目			
	第 4 週 目			
5 月	第 1 週 目			
	第 2 週 目			
	第 3 週 目			
	第 4 週 目			
6 月	第 1 週 目			
	第 2 週 目			
	第 3 週 目			
	第 4 週 目			
7 月	第 1 週 目			
	第 2 週 目			
	第 3 週 目			
	第 4 週 目			
8 月	第 1 週 目			
	第 2 週 目			
	第 3 週 目			
	第 4 週 目			
9 月	第 1 週 目			
	第 2 週 目			
	第 3 週 目			
	第 4 週 目			

氏名	
----	--

月	時 期	研 修 内 容	研 修 場 所	指 導 教 員
10月	第 1 週 目			
	第 2 週 目			
	第 3 週 目			
	第 4 週 目			
11月	第 1 週 目			
	第 2 週 目			
	第 3 週 目			
	第 4 週 目			
12月	第 1 週 目			
	第 2 週 目			
	第 3 週 目			
	第 4 週 目			
1 月	第 1 週 目			
	第 2 週 目			
	第 3 週 目			
	第 4 週 目			
2 月	第 1 週 目			
	第 2 週 目			
	第 3 週 目			
	第 4 週 目			
3 月	第 1 週 目			
	第 2 週 目			
	第 3 週 目			
	第 4 週 目			

作成日 (元号) 年 月 日

作成者		印	確認者		印
-----	--	---	-----	--	---

幼稚園等中堅教諭資質向上研修事前評価・研修計画書

群馬大学共同教育学部附属幼稚園

園 長 _____

当該教諭等氏名		担当学年等	
---------	--	-------	--

○ 事前評価

	当該教諭等の課題や更に伸ばしたい資質・能力
幼児の指導	
学級経営・その他	

○ 研修計画

ア. 園内における研修計画

研修担当者	職 名		氏 名	
-------	-----	--	-----	--

	予定年月日	研 修 内 容	時間	指導者職・氏名
幼児の指導				
学級経営・その他				
研修時間の合計			時間	

※指導者職について、教諭の場合は主事・主任等の分掌名とする。

小・中学校中堅教諭資質向上研修 事前評価・研修計画書

群馬大学共同教育学部附属
校 長

当該教諭	職員番号		氏 名	
------	------	--	-----	--

○ 事前評価

当該教諭等の課題や更に伸ばしたい資質・能力 (「学習指導・教科経営等」、「生徒指導・学級経営等」、「学校経営」)

研修教科		中学校免許	
------	--	-------	--

○ 研修計画

研修担当者	職 名		氏 名	
-------	-----	--	-----	--

	予定月日	研 修 内 容	指導者職・氏名
学教 習科 指経 導営 等			
生学 徒級 指経 導営 等			
学 校 経 営			
研修日数の合計			日

※指導者職について、教諭の場合は主事・主任等の分掌名とする。

※メンターチームのリーダーとして、メンター研修を2日以上計画すること。

特別支援学校中堅教諭資質向上研修事前評価・研修計画書

群馬大学共同教育学部附属特別支援学校
校 長

当 該 教 諭 等	職 員 番 号		氏 名	
-----------	---------	--	-----	--

○ 事前評価

当該教諭等の課題や更に伸ばしたい資質・能力 (学習指導・教科経営等、生徒指導・学級経営等、学校経営)	
所 属 学 部	

○ 研修計画

研修担当者	職 名		氏 名	
-------	-----	--	-----	--

	予定月日	研 修 内 容	指導者職・氏名
学習指導・教科経営等			
生徒指導・学級経営等			
学 校 経 営			
研修日数の合計			日

※指導者職について、教諭の場合は主事・主任等の分掌名とする。

群馬大学共同教育学部附属

校 長

○ 事前評価

当該養護教諭等の課題や更に伸ばしたい資質・能力（基礎資料参照）

○ 研修計画

予定月日	研 修 内 容	指導者職・氏名
研修日数の合計		日間

幼稚園等中堅教諭資質向上研修事前評価に関わる基礎資料

当該教諭等 氏名		担当 学年等	
-------------	--	-----------	--

1 幼児の指導

評 価 規 準		重点取組
計 画	1. 個々の幼児の理解と発達状況に対応した指導計画を作成している。	
	2. 日々の保育の記録をとり、自ら検討するとともに教員間で話し合い、次の指導計画に生かしている。	
	3. ティーム保育の場合に、互いの考えを十分に理解し合い指導計画を作成している。	
環境の 構成	4. 幼児の自発的な活動を引き出し、幼児がねらいに向かうための用具、材料等を適切に準備し配置している。	
	5. 他学級との関係、自然環境、地域の特徴なども生かす環境の構成をしている。	
	6. 幼児の実際の活動に合わせ、的確に環境を再構成している。	
保育の 方法・ 展開	7. 個々の幼児の特性を理解し、担当の幼児同士の関係を的確に把握している。	
	8. 幼児と共に活動することを心から楽しんでいる。	
	9. 幼児と共感し、満足感や心の安定を与えている。	
	10. 個々に応じた適切な援助を行っている。	
●園 長：園長から見て、当該教諭等に期待することや取り組んでもらいたいことなどについて記述してください。 当該教諭等：これまでの教職期間を振り返って、課題や更に伸ばしたい資質・能力などについて記述してください。		

2 学級経営・その他

評 価 規 準		重点取組
学級経営	1. 個々の幼児を学級の一員として大切にすることにより、幼児同士もお互いを大切にする学級になっている。	
	2. 施設設備の安全管理、幼児への安全指導が万全である。	
保護者へ の対応	3. 家庭との連携が緊密で、個々の幼児について、入園前や家庭での生活の様子も把握し保育に生かしている。	
	4. 保護者と話をする機会をできるだけ設け、保育に生かすとともに子育ての相談相手になっている。	
地 域 と の 関 係	5. 機会をとらえて地域の人に園を理解してもらうよう努力している。	
	6. 地域の行事などに積極的に参加しようとする姿勢がある。	
園 務	7. 園全体の運営方針・目標を把握し、職務全般に反映させている。	
	8. 園の運営について自分のこととして常に考え、職員会議等においても建設的な発言をしている。	
向上心	9. 自分の保育の評価を的確に行い、改善を図っている。	
	10. 園など職場が用意した研修機会に積極的に参加し資質向上に努めている。	
●園 長：園長から見て、当該教諭等に期待することや取り組んでもらいたいことなどについて記述してください。 当該教諭等：これまでの教職期間を振り返って、課題や更に伸ばしたい資質・能力などについて記述してください。		

自由記述欄（上記を総合したことやその他取り組みたい・取り組ませたいことなどについて記述してください。）

【記入上の注意】

- 1 この基礎資料は、幼稚園等中堅教諭資質向上研修の目的に基づき、教諭等一人一人の能力や適性等に応じた研修を実施するために作成するものです。
- 2 園長と当該教諭等が必ず面談の上、「幼児の指導」「学級経営・その他」について、重点取組欄とこれまでの教職期間を振り返って当該教諭等の課題や更に伸ばしたい資質・能力などについて記述してください。最後の「自由記述欄」には、総合的なことやその他取り組みたいことなどについて記述してください。なお、重点取組欄は、次の基準により〔◎〕〔○〕を記入してください。（数の制限はありません）

基準： 〔◎〕 重点的に取り組みたいこと 〔○〕 できれば取り組みたいこと

【その他】

本資料は園長と当該教諭等との面談を経て作成するものです。本資料を提出する必要はありません。

小・中学校中堅教諭資質向上研修 事前評価に関わる基礎資料

当該教諭等 氏 名	
--------------	--

1 学習指導・教科経営等

	評 価 規 準	重点取組
指導計画 の立案	1. 新学習指導要領の趣旨や内容を理解している。	
	2. 学校の指導方針の下、カリキュラム・マネジメントを意識した指導計画を立てている。	
	3. 児童生徒の実態や習熟度に応じた指導計画を立てている。	
学習活動 の展開	4. 単元や題材及び一単位時間のねらいが明確である。	
	5. 発問、板書、教材・教具、ICTを適切に活用し、ねらいの達成に向けた授業を展開している。	
	6. 学級全体や特別な配慮を必要とする児童生徒を含めた個々の理解度を捉え、授業内容や方法について臨機応変に対応している。	
授業改善 評 価	7. 児童生徒の思考力・判断力・表現力等を引き出すために、様々な活動の工夫をしている。	
	8. 児童生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価するとともに、学習状況を多面的に把握し、指導改善を図っている。	
その他	9. 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図っている。	
	10. 教科指導における学校課題解決に向けた提案や同僚に対しての助言等を積極的に行っている。	
●校 長：校長からみて、当該教諭等に期待することや取り組んでもらいたいこと等について記述してください。 当該教諭等：これまでの教職期間を振り返って、課題や更に伸ばしたい資質・能力等について記述してください。		

2 生徒指導・学級経営等

	評 価 規 準	重点取組
児童生徒 理解	1. 生徒指導の三機能について十分に理解し、生徒指導・学級経営等に生かしている。	
	2. 受容的・共感的な態度で児童生徒に接するとともに、様々な教育相談の手法を身に付けている。	
	3. 児童生徒一人一人の悩みや不安を多面的に把握するよう心掛けている。	
個への 指導支援	4. いじめや不登校、非行等の問題行動等の早期発見・即時対応に努めている。	
	5. 児童生徒が自己理解を深め、自己の課題に対して自己指導力によって解決できるよう支援している。	
全体への 指導支援	6. 児童生徒の日々の生活を適切に評価し、記録するとともに指導に生かしている。	
	7. 教師と児童生徒の信頼関係及び児童生徒相互のよりよい人間関係づくりを適切に進めている。	
	8. 児童生徒が学校や学級によりよく適応し、充実した学校生活を送ることができるよう配慮している。	
	9. 生徒指導主事・主任等他の教員と連携・協力しながら指導に当たっている。	
●校	10. SNSやインターネットの適切な使用について、適切な指導を行っている。	
	長：校長からみて、当該教諭等に期待することや取り組んでもらいたいこと等について記述してください。 当該教諭等：これまでの教職期間を振り返って、課題や更に伸ばしたい資質・能力等について記述してください。	

3 学校経営

	評 価 規 準	重点取組
組織的な 取組	1. 学校教育目標達成のために、各校務分掌の計画を立て、実行し、適宜、評価・改善に努めている。	
	2. 組織の一員としての自覚をもち、他の教職員と連携・協力し、具体的な指示や提案をしている。	
	3. 適切な報告・連絡・相談を行うとともに、分掌内のコーディネートを効果的に行っている。	
	4. 後輩の資質向上に向けた適切な指導・助言を行っている。	
保護者や 地域等 との連携	5. 家庭（地域）への情報提供に努めるなど、家庭（地域）との間に好ましい関係をつくっている。	
	6. 必要に応じ、学校外の関係機関との連絡・協力等を適切に行っている。	
	7. 地域の人材を積極的に活用し、社会に開かれた学校づくりを行っている。	
危機管理	8. 児童生徒の日々の生活における健康・安全に十分留意しながら指導を行っている。	
	9. 危機管理マニュアルについて理解していて、未然防止を図るとともに、事案発生時の動きについて把握している。	
	10. 校内・校外における危険について指導し、児童生徒自らが自分の身を守れるよう、適切な安全教育を行っている。	
●校 長：校長からみて、当該教諭等に期待することや取り組んでもらいたいこと等について記述してください。 当該教諭等：これまでの教職期間を振り返って、課題や更に伸ばしたい資質・能力等について記述してください。		

自由記述欄（上記を総合したことや、その他取り組みたい・取り組ませたいこと等について記述してください。）

【記入上の注意】

- この基礎資料は、小・中学校中堅教諭資質向上研修の目的に基づき、当該教諭等一人一人の能力や適性等に応じた研修を実施するために作成するものです。
- 校長と当該教諭等が必ず面談の上、「学習指導・教科経営等」「生徒指導・学級経営等」「学校経営」について、重点取組欄とこれまでの教職期間を振り返って当該教諭等の課題や更に伸ばしたい資質・能力等について記述してください。最後の「自由記述欄」には、総合的なことやその他取り組みたい・取り組ませたいこと等について記述してください。
 なお、重点取組欄は、次の基準により【◎】【○】を記入してください。（数の制限はありません）

基準： 【◎】 重点的に取り組みたい・取り組ませたいこと
 【○】 できれば取り組みたい・取り組ませたいこと

【その他】

本資料は、校長と当該教諭等が面談するに当たって作成するものです。したがって、本資料を提出する必要はありません。

特別支援学校中堅教諭資質向上研修事前評価に関わる基礎資料

当該教諭等氏名		所属学部等	
---------	--	-------	--

1 学習指導・教科経営等

	評価基準	重点取組
指導計画の立案	1. 年間指導計画に基づき、教育課程を適切に実施している。	
	2. 学校の指導方針の下、カリキュラム・マネジメントを意識した指導計画を立てている。	
	3. 自立活動や各教科等を合わせた指導等の特徴を踏まえて指導を行っている。	
学習活動の展開	4. 単元や題材及び一単位時間のねらいが明確である。	
	5. 個に応じた教材・教具・ICTを適切に活用するなど、授業方法を工夫している。	
	6. 児童生徒の興味・関心を生かし、自発的な学習が促されるよう工夫している。	
	7. 児童生徒の思考力・判断力・表現力等を引き出すために、様々な活動の工夫をしている。	
授業改善評価	8. 児童生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価するとともに、学習状況を多面的に把握し、指導改善を図っている。	
	9. 個別の指導計画を基に日々の授業を実施し、評価・改善を行っている。	
	10. 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図っている。	
●校長：校長からみて、当該教諭等に期待することや取り組んでもらいたいことなどについて記述してください。 当該教諭等：これまでの教職期間を振り返って、課題や更に伸ばしたい資質・能力等について記述してください。		

2 生徒指導・学級経営等

	評価基準	重点取組
児童生徒理解	1. 障害の特性や状態の理解に努め、適切な指導を行っている。	
	2. 受容的・共感的な態度で児童生徒に接するとともに、様々な教育相談の手法を身に付けている。	
	3. 児童生徒一人一人の悩みや不安を多面的に把握するよう心掛けている。	
個への指導支援	4. いじめや不登校、非行等の問題行動等の早期発見・即時対応に努めている。	
	5. 問題行動等の指導に対して、その背景や要因を考え、適切に対応している。	
	6. 児童生徒の日々の生活を適切に評価し、記録するとともに指導に生かしている。	
全体への指導支援	7. 生徒指導について正確かつ十分に理解し、指導の充実に向けた考え方が明確である。	
	8. 日頃から教師と児童生徒の信頼関係及び児童生徒相互の好ましい人間関係づくりを適切に進めている。	
	9. 児童生徒が学校や学級での生活によりよく適応するとともに、キャリア教育の視点をもって、組織的かつ計画的に児童生徒の支援に当たっている。	
	10. 生徒指導主事・主任等他の教員と連携・協力しながら指導に当たっている。	
●校長：校長からみて、当該教諭等に期待することや取り組んでもらいたいことなどについて記述してください。 当該教諭等：これまでの教職期間を振り返って、課題や更に伸ばしたい資質・能力等について記述してください。		

3 学校経営

	評価基準	重点取組
組織的な取組	1. 学校教育目標や経営方針などに基づき、各校務分掌の計画を立て、その実現化を図るとともに、評価・改善に努めている。	
	2. 組織の一員としての自覚をもち、他の教職員と連携・協力し、具体的な指示や提案をしている。	
	3. 適切な報告・連絡・相談を行うとともに、分掌内のコーディネートを実践している。	
	4. OJT推進の意義を理解し、周囲の教職員資質・向上に向けて指導・支援を行っている。	
保護者や地域等との連携	5. 家庭（地域）への情報提供に努めるなど、家庭（地域）との間に好ましい関係をつくっている。	
	6. 必要に応じ、医療・福祉・労働等の関係機関との連携を適切に行っている。	
	7. 地域の人材を積極的に活用し、社会に開かれた学校づくりを行っている。	
危機管理	8. 児童生徒の日々の生活における健康・安全に十分留意しながら指導を行っている。	
	9. 危機管理マニュアルについて理解して、未然防止を図るとともに、事案発生時の動きについて把握している。	
	10. 校内・校外における危険について指導し、児童生徒自らが自分の身を守るよう、適切な安全教育を行っている。	
●校長：校長からみて、当該教諭等に期待することや取り組んでもらいたいことなどについて記述してください。 当該教諭等：これまでの教職期間を振り返って、課題や更に伸ばしたい資質・能力等について記述してください。		

自由記述欄（上記を総合したことやその他取り組みたい・取り組ませたいことなどについて記述してください。）

【記入上の注意】

- この基礎資料は、特別支援学校中堅教諭資質向上研修の目的に基づき、教諭等一人一人の能力や適性等に応じた研修を実施するために作成するものです。
- 校長と当該教諭等が必ず面談を行った上、「学習指導・教科経営等」「生徒指導・学級経営等」「学校経営」について、重点取組欄とこれまでの教職期間を振り返って、当該教諭等の課題や更に伸ばしたい資質・能力などについて記述してください。最後の「自由記述欄」には、総合的なことやその他取り組みたい・取り組ませたいことなどについて記述してください。なお、重点取組欄は次の基準により〔◎〕、〔○〕を記入してください。
(数の制限はありません)

基準： 〔◎〕 重点的に取り組みたいこと 〔○〕 できれば取り組みたいこと

【その他】

本資料は、校長と当該教諭等が面談するに当たって作成するものです。
したがって、本資料を提出する必要はありません。

中堅養護教員資質向上研修事前評価に関わる基礎資料

当該養護教諭等 氏名		校務分掌等	
---------------	--	-------	--

領域	評 価 規 準	重点取組
保 健 管 理	1. 健康上、配慮を要する児童生徒への保健管理を適切に行うとともに、校内のコーディネーター的役割を果たしている。	
	2. 救急処置を的確に実施するとともに、組織的な対応が図れるよう中核的な役割を果たしている。	
	3. 健康観察や健康診断を円滑に実施し、課題の把握を的確に行い、解決に向けた取組を実施している。	
	4. 学校環境衛生活動について理解を深め、学校薬剤師との協力関係を構築している。	
保 健 教 育	1. 学級活動・ホームルーム活動、体育科・保健体育科等にチームティーチングで参画するなど、学級担任等と連携した保健教育を積極的に行っている。	
	2. 学校行事における保健指導を実施している。	
	3. 心身の健康課題を有する児童生徒への個別指導を実施している。	
	4. 学校保健に理解や協力が得られるよう、保健だよりなどの啓発活動を通して、家庭や地域に情報発信している。	
健 康 相 談	1. 児童生徒の心身の健康課題を総合的な視点で捉え、早期発見・早期対応を図っている。	
	2. 事例検討会を積極的に開催するなど、校内支援体制における推進的な役割を果たしている。	
	3. 専門家、専門機関と連携した支援等を積極的に行っている。	
	4. 虐待やいじめ等について、校内及び関係機関と連携した対応を行っている。	
保 健 室 経 営	1. 保健室経営計画を策定し、教職員、保護者等への周知を図るとともに実践後は、評価・改善を行い、効果的な保健室経営となるよう努めている。	
	2. 保健室が、学校保健活動のセンター的役割を果たしている。	
	3. 学校保健に関する諸表簿の整備をし、適切に保管している。	
保 健 組 織 活 動	1. 職員の保健部組織が機能するよう中核的役割を果たしている。	
	2. 学校保健委員会 ○ 保健主事に協力し、健康に関する課題の解決に努めている。 ○ 事前事後の活動を充実させるとともに、保護者や学校医、関係機関等と連携し、効果的に機能するよう努めている。	
	3. 児童生徒保健委員会において、児童生徒の主体的な活動となるよう努めている。	

学 校 経 営	1. 学校教育目標達成のために、各校務分掌の計画を立て、実行し、適宜、評価・改善に努めている。	
	2. 組織の一員としての自覚をもち、他の教職員や保護者、地域と連携・協力し、具体的な指示や提案をしている。	
	3. 適切な報告・連絡・相談を行うとともに、分掌内のコーディネートを効果的に行っている。	
	4. 後輩の資質向上に向けた適切な指導・助言を行っている。	
	5. 危機管理マニュアルについて理解し、未然防止を図るとともに、事案発生時の動きについて把握している。	

●校	長： 校長から見て、当該養護教諭等に期待することや取り組んでもらいたいことなどについて、記述してください。 当該養護教諭等： これまでの教職期間を振り返って、課題や更に伸ばしたい資質・能力などについて、記述してください。
<u>自由記述欄</u>（上記を総合したことやその他取り組みたい・取り組ませたいことなどについて記述してください。）	

【記入上の注意】

- この基礎資料は、中堅養護教員資質向上研修の目的に基づき、養護教諭等一人一人の能力や適性等に応じた研修を実施するために作成するものです。
- 校長と当該養護教諭等が必ず面談の上、「保健管理」「保健教育」「保健組織活動」等について、重点取組欄とこれまでの教職期間を振り返って当該養護教諭等の課題や更に伸ばしたい資質・能力などについて記述してください。最後の「自由記述欄」には、総合的なことやその他取り組みたい・取り組ませたいことなどについて記述してください。なお、重点取組欄は次の基準により【◎】、【○】を記入してください。（数の制限はありません）

基準： 【◎】 重点的に取り組みたいこと 【○】 できれば取り組みたいこと

【その他】

本資料は校長と当該養護教諭等が面談するに当たって作成するものです。本資料の提出は必要ありません。

幼稚園等中堅教諭資質向上研修報告書

本園 ○○○○の研修が修了しましたので報告いたします。

群馬大学共同教育学部附属幼稚園

園 長

当該教諭等氏名		担当学年等	
---------	--	-------	--

○ 園内における研修報告

	実施月日	研 修 内 容	時間	指導者職・氏名
幼児の指導				
学級経営・その他				
研修時間の合計			時間	

○ 各研修における自己評価

	1年間の研修の成果と課題（当該教諭等が記入）
幼児の指導	
学級経営・その他	

○ 園長所見

※指導者職について、教諭の場合は主事・主任等の分掌名とする。

小・中学校中堅教諭資質向上研修 報告書

本校教諭 ○○○○の研修が修了しましたので報告いたします。

群馬大学共同教育学部附属
校 長

当該教諭	氏 名		研修教科	
------	-----	--	------	--

○ 校内における研修報告

	実施月日	研 修 内 容	指導者職・氏名
学教科 習科 指導 等			
生学 徒級 指導 等			
学 校 経 営			
研修日数の合計			日

※指導者職について、教諭の場合は主事・主任等の分掌名とする。

※メンターチームのリーダーとして、メンター研修を 2 日以上 報告すること。

○ 各研修における自己評価

	1 年間の研修の成果と課題（当該教諭が記入）
学教科 習科 指導 等	
生学 徒級 指導 等	
学 校 経 営	

○ 校長所見

--

特別支援学校中堅教諭資質向上研修報告書

本校教諭 ○○○○の研修が終了しましたので報告いたします。

群馬大学共同教育学部附属特別支援学校
校 長

当該教諭等氏名		所属学部等	
---------	--	-------	--

○ 校内における研修報告

	実施月日	研 修 内 容	時間	指導者職・氏名
教科経営等 学習指導・				
学級経営等 生徒指導・				
学校経営				
研修日数の合計				日

○ 各研修における自己評価

	1年間の研修の成果と課題（当該教諭等が記入）
教科経営等 学習指導・	
学級経営等 生徒指導・	
学校経営	

○ 校長所見

※指導者職について、教諭の場合は主事・主任等の分掌名とする。

中堅養護教員資質向上研修報告書

本校養護教諭〇〇〇〇の研修が修了しましたので報告いたします。

群馬大学共同教育学部附属

校 長 _____

当該養護教諭氏名	
----------	--

○ 校内における研修報告

実施月日	研修内容	指導者職・氏名
研修日程の合計		日間

○ 自己評価（1年間の研修の課題と課題：養護教諭が記入）

○ 校長所見